

## 地域密着型サービス評価の自己評価票(ユニット名:A棟)

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設してまもなく職員と作り上げた理念がある	○ ホームでどのような生活を送っていただきたいのか、またスタッフの在り方について、再度皆で作っていききたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送り、会議、日々のケアの振り返りを通して、理念の実現に向け取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入所時に、入所後も御家族とのかかわりを大切にしたい支援をしていきたいことをお伝えしている。	○ 新しい理念ができれば、ご家族様や地域の方々にお伝えできるように広報誌などを活用していく
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣に住宅がなく、地域住民とのかかわりがない	○ 回覧板などにより、地域住民の方々へGHの機能を伝えていきながら交流を深めていきたいと考えている
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に参加している	○ 自治会活動や地域行事などに積極的に参加していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		○	運営推進会議を通して話し合っていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が自己評価表に目を通し、改善に向けた取り組みについて考え実行している		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの実際の取り組みを伝えながら、よりよい方法や意見を求めた話し合いを行っている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	土浦市地域密着型サービス連絡会に参加し、介護サービスの適正な提供や質の向上について、市の意向を聞く機会がある		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学習会を行っているが、活用の実績はない	○	適切に制度が活用できるよう、関係者との連絡調整を図っていく
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学習会を行っている。ひやりはつとや事故は報告書を作成し、どのような状況で何が起こったのかを明らかにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明を口頭及び書面にて行い、理解納得した上でサービスが利用開始できるように努めている。利用開始後も疑問や不明な点がないか確認している。疑問などには早急にお答えできるようにしており、わかりにくいものは書面にて説明をしている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の活用、介護相談員との連携をしている。職員が聴取した内容は記録し、改善へ向けた取り組みを行っている。食事のメニューや外出などは、できる限り早期に実現できるよう支援している	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会や電話にて、最近のホームでの様子をお伝えするようにしている。金銭管理は、入金の際に用途と残金を出納帳にて確認していただいている	○
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置している。面会時や電話連絡時に意向を伺う機会を設けている	○ 提供しているサービスの満足度・改善したほうがよいと思うことなど。無記名のアンケートを行い、信頼関係と質の向上を目指したい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダースタッフを中心とし、各々の意見や提案を聞き、できる限り実現できるようサポートしている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な時間の必要人員を確保できるよう検討し、柔軟に対応している	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎朝3ユニット合同の朝礼を行い、27名の入居者様の把握に努めている。レクや行事を合同で行ったり、日常的に行き来することにより他ユニットとのスタッフとも顔見知りの関係になるようにしている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を継続的に行っている。段階に応じて認知症介護実務者研修やその他外部研修への参加をすすめている	○ 全職員が研修に参加できる機会を得られるよう計画をしていきたい 伝達研修を行い、研修に参加できなかった職員にも伝えられる機軸を設けていく
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	土浦市地域密着型サービス連絡会や研修などを通して交流している	○ 相互訪問を行い、新しい視点での質の向上に努めたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的に相談しやすい雰囲気作りや話しやすい場作りを心がけている。様子に変化が見られるときには話ができるきっかけ作りをしている	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	OJTに取り組んでる。リーダースタッフと共に半年間の目標をもち日々のケアに取り組んでいる。目標の達成のためにリーダーが中心となりフォローしている	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に少なくとも1度はご本人にお会いし、顔を見てお話しさせていただく機会を作っている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に少なくとも1度はホームに来ていただき、生活の雰囲気を感じていただきながら、お話をうかがっている。また、よりよい生活のに向けた準備などを一緒に考えさせていただいている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今 1番困っていること、不安に思っていることを聴き取りようようにしている。必要時には、居宅支援事業者と連携をとり支援している		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に体験入所ができることをお伝えしている。可能であればご本人がホームに来ていただけるようお願いしている		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	野菜の苗を植えるときに支柱の立て方を教えてもらいながら一緒に行ったり、漬物作りが得意な方と収穫した野菜で一緒に作り食べるなどしている	○	共に過ごす時間がより豊かになるよう支援していきたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月行っているケースカンファレンスの内容を書面にてご家族様に説明し希望や意向を伺いながら、協力を得るようにしている	○	遠方や面会の少ないご家族様との関係作りを深めていきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	アセスメントや聴取により得た情報を基に、支援している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力を得ながら、自宅付近の通いなれた飲食店やお店・以前いた施設への訪問を行っている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う方同士を近くにする配慮をしている 意思疎通が困難な場合や、トラブルにつながりそうな場合には、職員が間に入り本人の思いを代弁しつつかわりを持つよう支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後もいつでも遊びに来ていただけるよう、また何かお困りのことがあれば相談にのらせていただく旨 お伝えしている	○	ホーム内行事のお知らせなど送らせていただき 交流がとぎれないようにしていきたい
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	月1回のケースカンファレンスにて担当スタッフを中心に本人の生活の様子や思いを取り上げ、よりよい生活となるよう検討している 入浴や外出時など1対1で関われるときなど、ゆったりと本人の思いを聴けるようにしている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご家族様に直接アセスメント表への記入をお願いしている 不足部分は、キーパーソンを中心に面会時などに徐々に伺うようにして、日々の関わりの中で情報を得ている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送り・個人記録を活用しながら日常の様子を把握し、ケアプランに沿ったケアが統一して提供できるように努めている できることできないことシートなどの活用をしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のケースカンファレンス開き、計画作成担当者が中心となりスタッフとともにモニタリング・プランの変更・追加を行っている 計画作成担当者はご本人とご家族の思いを大切にケアプランの作成をしている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直しを行っているが、変化があった時には現状を評価しプランを作成している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿ったケアを記録にしている。日々の個人記録の中に気付いた点や工夫したことなども合わせて記録している		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内他事業所と連携を図りながら行っている (保育園児の訪問など)		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防訓練の実施 ハーモニカ・カラオケボランティアの定期的な訪問やその他地域ボランティアの訪問 地域運営推進会議の開催をしている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	在宅支援センターに相談したケースあり		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在まで協働したケースなし		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	できる限りかかりつけ医に受診できるよう支援している。情報伝達がスムーズに図れるよう、状態や上申事項などメモにしてお渡ししている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	接遇についての学習会を行っている ユニット会議や日々の業務の中で声の大きさ・声の掛け方・態度などの振り返りを行っている 職員同士が意識できるよう声を掛け合っている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望・要望・苦情などが書き込めるようご意見箱の設置をしている 言語での理解が困難な方には、非言語的なかわり方で、本人の意思の理解度や意志を確認している（食事メニュー・着る服・入浴時間など）	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	目の届くところに献立や行事の予定を掲示し、参加の有無を自己決定したり、楽しみにできるようなかわりをしている 買いものや外出などは、できる限り希望にそって支援できるようにしている	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	何を着るかなど楽しみながら一緒に選べるように支援している 今まで利用していた理容室へでかけている方がいる	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おやつや食事メニューについて話し合いながら、得意料理など一緒に教えてもらいながら楽しく作れるように支援している 野菜切り・配膳・食器洗いなど本人進んでできることを共に行っている	○ 食べたいものなどを聞きながら、お楽しみ献立にしている
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ヤクルトの訪問販売時には、好きなものを選んで購入してもらっている 自己管理しているおこづかいでホーム前の自販機などに使用している 飲酒喫煙などを継続して行えるように支援している	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	食事前・就寝前・就寝中などに促している 排泄間隔の把握のために、チェック表を使用している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴が好きな方には毎日入浴できるように、入浴を好まない方には、入浴確認表をもとに、その時の思いに沿いながら入浴へ促せるようにしている 入浴剤を使用したり、ひとりでゆったりと湯船につかっていられる時間を作るなどの工夫をしている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1日の生活リズムができるように、起床の声かけを行っている 日中の適度な活動(散歩・外気浴)や人とのかかわりを通し疲労度合いを見ながら休息を促している		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりのできる事、したい事を探りながら包丁研ぎ・洗濯物たたみ・漬物作り・ゴミ捨てなど役割をもてるようにしている お芝居見学・小旅行など楽しめるようにしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の理解・協力を得ながら、希望により本人が所持しているお菓子を買に行ったり、自販機でジュースを買ったりしている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ・買い物・本屋など希望に沿って計画を立て支援している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	つくばエクスプレスを利用し浅草観光(H19年5月) 健康センターへ観劇(19年11月)など行っている ご本人の希望や思いをご家族に伝えながらお墓参りや買い物、自宅への訪問ができるよう支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話が使えることを伝え、希望時には使用していただいている ご家族・知人・友人との電話、手紙のやり取りを行えている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	リビングや居室など、居心地のよい場所で過ごせるよう支援している		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わないことを原則としている。どのようなことが身体拘束にあたるのか日々のケアや会議、学習会などを通して考える機会を設けている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーチャイム・通用口には鈴をつけ、人の出入りが分かるようにしている 一人ひとりの行動パターンを把握し、スタッフ間での連携を図りながら個人に合わせた見守りを行っている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はスタッフ間で連携を図り、各入居者の行動を予測しながら、さりげなく見守りをしている 夜間は一人ひとりに合わせた巡視を行っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	居室へ訪問した時や掃除の際に居室内環境の把握をしている (つめきり・裁縫道具・ゴミ箱など)		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメント委員がユニットごとに集計後会議にて報告し再発の防止・意識向上に努めている 事故報告書(ヒヤリハットを含む)を記入しスタッフ全員が把握し、日々の申し送りやユニットスタッフ全員で把握し日々の申し送りやユニット会議にて事故の再発防止について話し合っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や緊急時に備えマニュアルを整備し、学習会を行っている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	予測されるリスクについては、そのつど連絡・話し合いの場を持ち 内容を支援経過に記録している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、個人記録へ記入し日々把握している 血圧が安定しないときには 入浴前や就寝前にも測定している 毎月1回 体重測定を行っている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤管理マニュアルに添って行い、飲み忘れ・誤薬がないよう3重チェックを行っている 内服薬に変更があった際にはその後の様子を観察し記録し状態変化の把握に努めている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便状況を観察しながら 便秘薬の調整を行っている 乳製品や果物、オリゴ糖の提供を行っている	○	日常的に軽い運動ができるように支援していきたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアを促し、介助している 週1回程度義歯洗浄剤を使用している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	偏食・食事ムラ・水分摂取が少ない方など、個々に合わせた提供方法の工夫や好むものの提供を行い、必要時食事・水分・排泄状況がひと目でわかる表を活用している		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルを整備している 発生しやすい時期などには、感染対策委員が改めて、症状・予防法・対策などについて周知を促している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の消毒は毎日行っている 賞味期限を確認しながら使用している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や植物を植えている	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた掲示物や花など置いている テレビや音楽をそのつど不快にならないような音量にしている ホーム全体が 明るく優しい雰囲気になるよう配慮している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	他者に気をつかわずに過ごせる場所を確保している(喫煙・読書) 気兼ねすることなく好きな場所でテレビを見ることができるようソファの配置を考えている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していたこたつ・寝具・ソファ・家具・装飾品などを持ちこんで、くつろげる居室となるようにしている 本人と一緒に使いやすく、危険のない配置になるよう配慮している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝や日中に換気を行っている 夜間・日中や 室内外の温度差を考慮、本人の快適温度を確認しながら冷暖房の使用をしている 居室訪問時などに室温の確認を行っている 暖房使用時には居室に濡れバスタオルをかけ乾燥を防いでいる		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入浴時には身体状況に合わせてすべり止めマット・シャワーチェア・バスボードを使用している 本人に合わせた環境となるよう配慮している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	アセスメントにもとづき予測し、混乱を招かないよう配慮しながら関わりをしている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭に畑があり季節の花や野菜を作り収穫している 他棟との入居者様同士の交流など行えるよう中庭にベンチ・イスなどを置いている		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様には『過去を懐かしみ 現在を楽しみながら 明日に希望が持てる』そのような毎日を過ごしていただきたいと思い日々ケアに取り組んでいます。近隣に住宅や人通りがないので、地域とのかかわりが非常に少なくいかに入居者様に外出の機会を提供できるか、地域の方々にホームの存在を知っていただくと 頭を悩ませています。3ユニット27名の小さなコミュニティーですが、ユニット間の交流を行うことで他者との交流の場面を作っています。毎日の生活の中に ゆとりと笑い を大切にし 入居者様の笑顔を励みに職員一同がんばっています。